

キット版うおーるぼっと 組み立てマニュアル Ver.1.1

1. ダブルギアボックスを組み立てる。

付属の説明書に従って組み立てて下さい。



ギア比は、1 1 4. 7 : 1で組み立てます。

グリスはしっかり塗って下さい。



2. スポーツタイヤセットを組み立てます。

付属の説明書に従って組み立てて下さい。

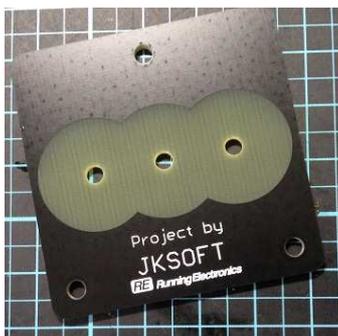


ホイールハブは六角シャフトのものを使用します。

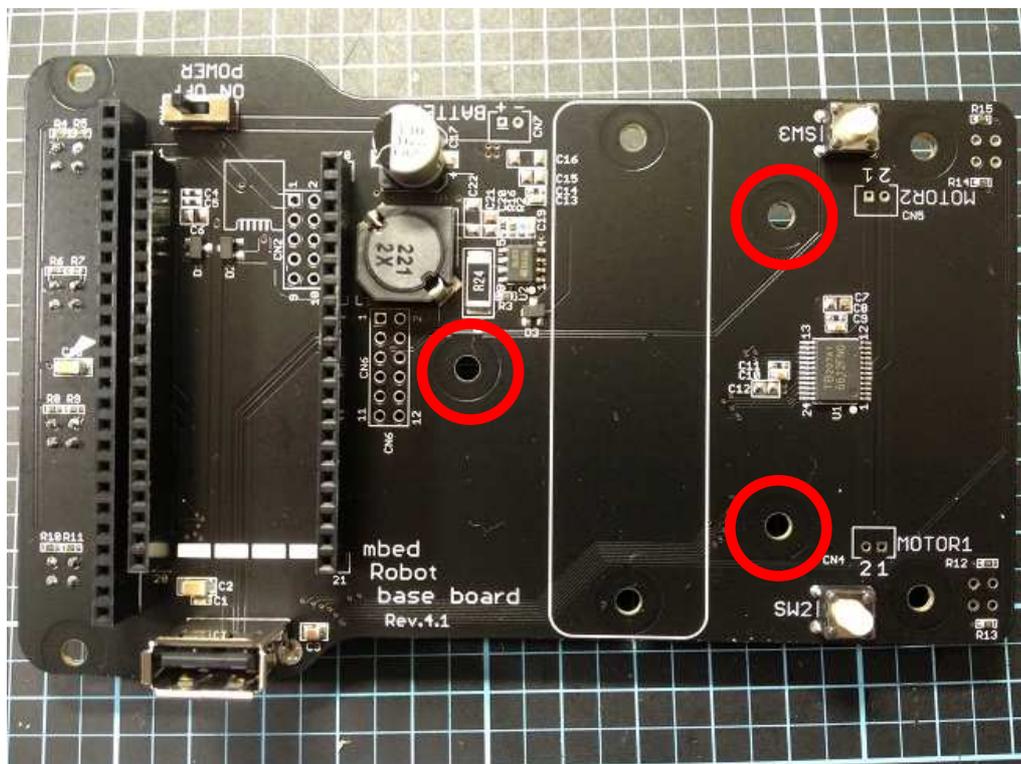
説明書に書かれている裏側でホイールにホイールハブを取り付けます。

3. うおーるぽっと基板にマグネットベース取り付け用のネジを取り付けます。

(マグネットベースとは、次の写真です。これ自体はまだ取り付けません)



うおーるぼっと基板の3箇所にネジとワッシャとナットを取り付けます。



基板の表（部品が取り付けられてる面）からネジ、ワッシャ、基板、ナットの順で取り付けます。

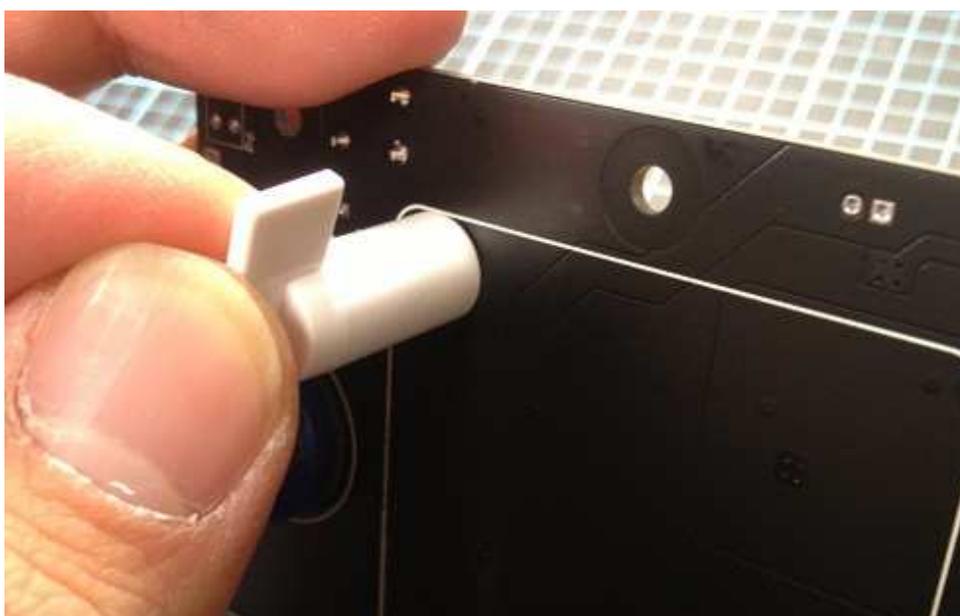
基板表側



基板裏側



スポーツタイヤセットに付属しているナット回しでしっかり固定します。



4. ギアボックスをうおーるぼっと基板に取り付ける

ギアボックスとうおーるぼっと基板の間にギアボックススペースを2枚はさみます。
(ギアボックススペースとは次の写真です。)



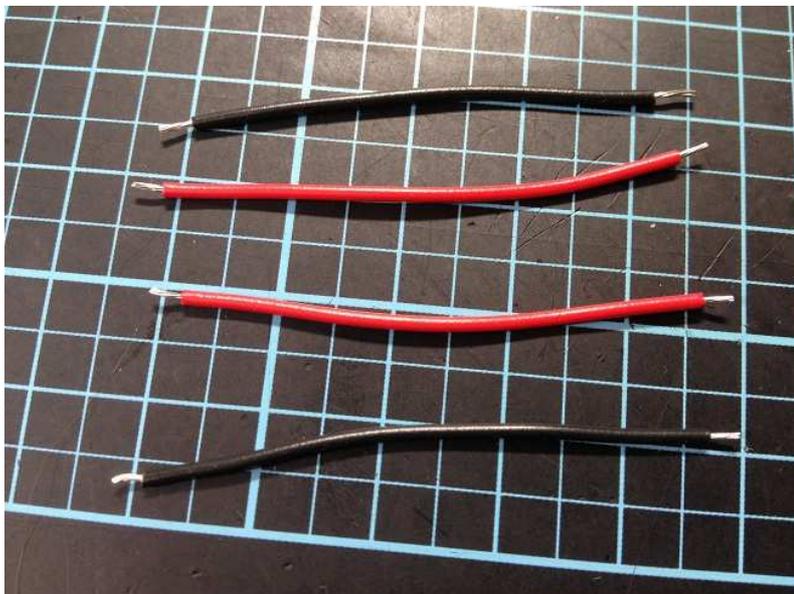
基板の表側からネジ、ギアボックス、ギアボックススペース2枚、ワッシャ、ナットの順で、ギアボックスの左右のの2箇所を固定します。



5. モータを配線する

付属の赤と黒の配線でモータを配線します。配線の片方に抵抗も取り付けます。

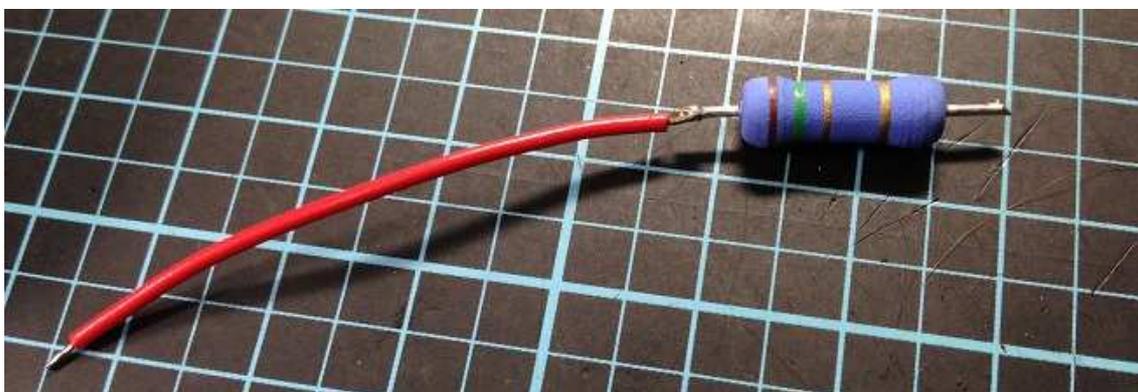
配線を 4 cm ほどに切り、被覆をむきます。



抵抗 2 本も足を 5mm ほどになるように切り、準備します。



配線を抵抗にはんだづけします。



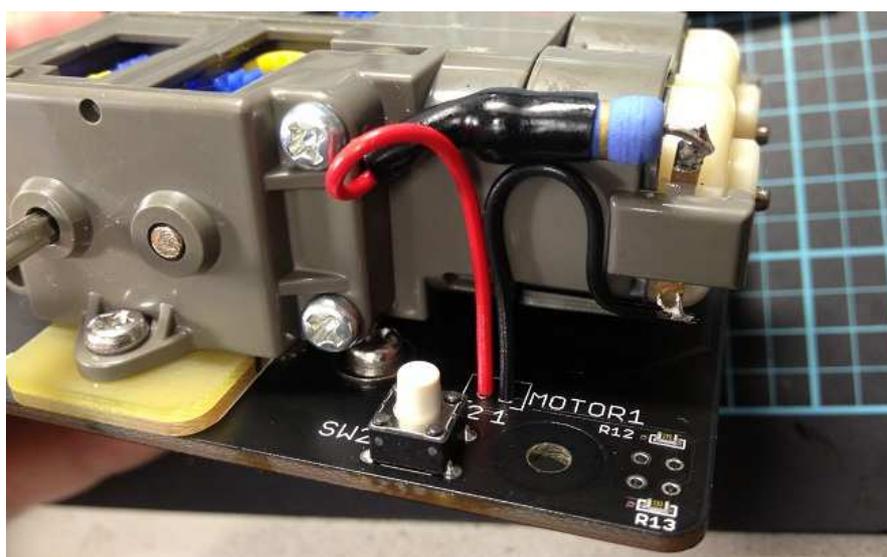
次に熱収縮チューブを適当な長さに切ります。



抵抗の付けた配線が隠れる様に熱収縮チューブを取り付け、ハンダゴテ等で収縮させます。



次の写真のようにモータと基板の間を配線する 左右どちらも同様に行います。



6. 電池ボックスを配線する

電池ボックスに配線をハンダ付けする（次の写真を参考にしてください）

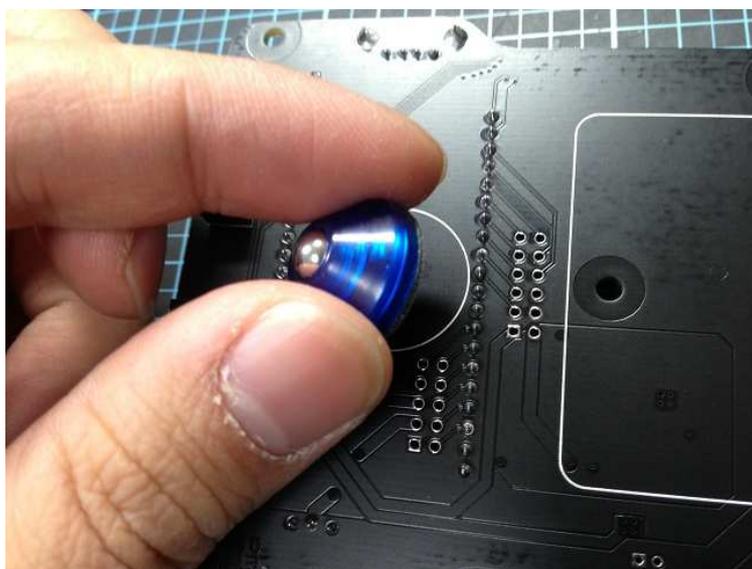


（キットに付属されている電池ボックスはすでに線がついてるものもあります。）
電池ボックス裏の両面テープを用意して、ギアボックスの上に取り付ける
取り付けたら基板に配線をハンダ付けします。（基板に書かれている+に赤線、-に黒線
をハンダ付けします。）

7. タイヤとボールキャスターを取り付ける

タイヤをギアボックスのシャフトに取り付けます。

次にボールキャスタを取り付けます。基板裏の円に合わせて2箇所取り付けます。



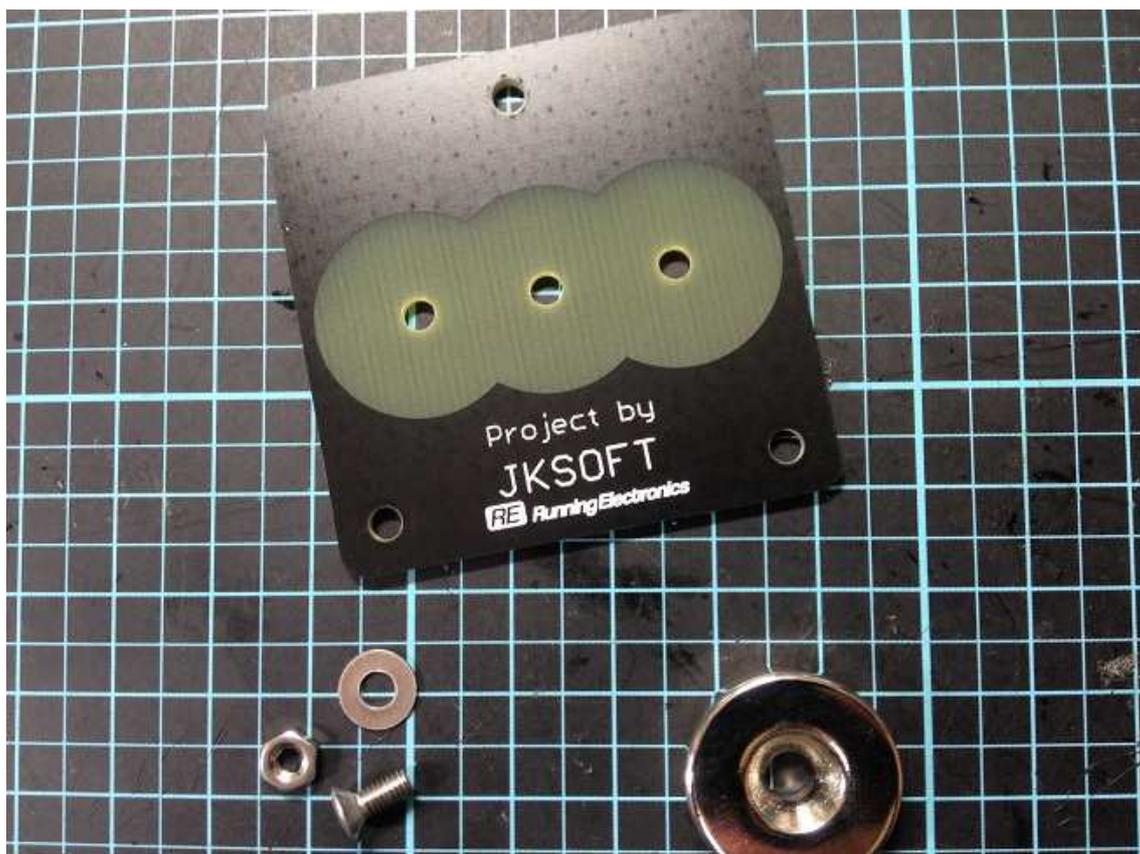
8. ~~マグネットベース~~に磁石を取り付ける (キットには磁石が取り付け済みです)

磁石は短いネジでマグネットベースに取り付けます。

※磁石の取り扱いには十分気をつけて下さい。

指等を挟まれると怪我をする可能性があります。

磁力により、磁気テープ式のカードの情報が消えてしまう可能性があります。



文字が書かれている方に磁石を付けます。

ネジ、磁石、マグネットベース、ワッシャ、ナットの順で取り付けます。

9. マグネットベースを取り付ける

組み立てたうおーるぼつとにマグネットベースを取り付けます。

マグネットベース取り付け用のネジにワッシャをセットします。

(マグネットベースは、貼り付ける面によって、ワッシャの枚数で高さを調整できるようになっています。)



9. 完成

これでうおーぼっとの組み立ては完了です。

mbed もしくは mbed ピン互換基板を取り付け、電池を入れてテストプログラムで動作確認をして下さい。

